

当会会員のオーエスマシナリー(株)小樽工場(小樽市)が  
平成29年1月31日付の日刊工業新聞に紹介されました。

モノづくり支える

# 町工場「技」

163

オーエスマシナリーは、飲料容器用機械の開発・製作のほか、缶

## オーエスマシナリー

近年では、加工技術を生かした産業機械の製造にも取り組む。缶やふたの金型はミクロンオーダーで加工する。ペットボトルの金型加工も100分の1、2ミリ単位という精度に対応する。ペッ



## 加工機械で北海道の食に貢献

トボトルの金型は安価な中国製の利用が増えているが、川島誠一郎小樽工場長は「我々が勝てるのは品質だ。納期を少しでも縮め、コスト面でもできる限りついていく」と意気込む。

小樽工場は機械装置に関して「北海道の強みである『食』に関するもの」に力を入れている。真空乾燥機「バキュームドライヤー」はブドウの搾りかすなどの廃棄物を乾燥させて新たに活用できるようにする。「道内の食品関連企業からいくつか引き合いもある」と川島小樽工場長。長年の技術を生かした新事業の展開も見据える。

(札幌)

▽社長 長内豊氏▽所在地(小樽工場) 北海道小樽市、0134・62・5252▽売上高 68億4000万円(16年3月期)▽従業員 122人▽設立 74年(昭49)11月  
(火曜日に掲載)